

豊かな自然と伝統文化の郷 よねかわ

米川新聞 3

発行元:米川地域振興会(米川公民館内)
発行日:2026年3月1日 第179号
住所:登米市東和町米川字四十田25-1
電話:0220-53-4155
FAX:0220-23-9030
E-mail:
yonekawakou@chime.ocn.ne.jp



2月1日(日)、「米川の水かぶり」が行われ、主催者発表三千五百人の見物客で賑わいました。参加する男衆は「宿」の菅原さん宅に集まり、藁の装束を作り、それを身につけて顔にすすを塗って支度を整えました。境内の特設ステージでは主催者や市長の挨拶など開会行事が行われ、アトラクションとして「次代へ繋ぐ伝統行事」と題して、中学生による嵯峨立神楽(三宝



【大慈寺境内の秋葉山大権現に参拝】

米川の水かぶり賑わう

荒神)や、小学生も交じったの佐沼鹿踊(三人舞)が披露されました。10時半に宿を出た男衆は大勢のカメラマンや見物客に囲まれながら、大慈寺を目指し、境内に祀られている秋葉山大権現を参拝して神の化身となり、町下の諏訪森大慈寺跡地を参拝、火伏を祈願した後、街に繰り出していきました。今年、参加者は中学生もあり、参加者は中学生



【中学生が舞った躍動的な三宝荒神】



【顔にすすを塗る場面はシャッターチャンス】

4人を含む28人と小学生3人の見習い、おかめ、火男を加えた総勢33人という陣容で開催することができました。これからも世界に誇る伝統行事「米川の水かぶり」を米川地区の皆さんで工夫しながら、守り、伝えてい



くことができるよう願うものです。



【八幡神社で記念撮影】



【山門前で男衆を待つカメラの放列と見物客の皆さん】

川面も凍る寒さ



氷が張った東上沢・流れ不動から100mほど上流の二股川

寒波が襲来していた2月9日の二股川です。旧米川小学校の校歌の冬の一節「星影凍る二股」を思い出して一枚です

2月1日(日)午後華足寺客殿において、交通安全などを祈つて節分会(せつぶんえ)のご祈祷が行われました。地元内外からおよそ80人の皆さんが集まる中、ご祈祷が行われたのち、住職や鮎淵飯面とその仲間の鮎淵くらぶの面々、気仙沼べいさんらが豆まきを行い、引き続き、トークを交えたパフォーマンスを披露し、集まった皆さんを楽しませていました。



華足寺で豆まき

米川公民館 俳句教室

選者:俳句教室講師 及川奈奈夫 氏

2月の兼題:水かぶり 暹春 雑詠

水かぶりの顔出しパネル春隣
水かぶりの飛沫煌めくおらが里
田の畔も黄色の旗や水かぶり
梅東風や狭き間口の荒物屋
病床の階の高さの帰雁かな
笹舟の朽ちたる岸辺春の鴨
立春や宿の湯の音谷の音
北上川の落合に五羽春の鴨
せせらぎの露天の湯より冬銀河

錦織 及川ななを
米川 小野寺好道
新田 村松正
宝江 高橋武比古
宝江 佐藤頼夫
錦織 大平清登
米川 千葉勝保
豊里 佐々木政昭

3月の兼題:春の闇 蝶 当季雑詠
皆様からの投句をお待ちしています。

3月の予定

日	予定
1	日
2	月
3	火
4	水
5	木
6	金
7	土
8	日
9	月
10	火
11	水
12	木
13	金
14	土
15	日
16	月
17	火
18	水
19	木
20	金
21	土
22	日
23	月
24	火
25	水
26	木
27	金
28	土
29	日
30	月
31	火

米川の世帯数と人口

令和8年1月末現在					
行政区	世帯数	男	女	計(人)	前月比
1区	135	112	124	236	0
2区	92	105	96	201	△3
3区	103	130	129	259	1
4区	96	123	90	213	△2
5区	72	86	87	173	1
6区	74	94	88	182	0
7区	56	78	78	156	0
8区	110	105	126	231	△1
9区	56	51	77	128	0
10区	34	49	42	91	0
計	828	933	937	1870	△4

米谷病院の安定した運営等について市長に要望



【市長に要望書を手渡す米谷の齋藤会長】

2月25日（水）、米川地域振興会の千葉会長、米谷地域づくり協議会の齋藤会長、錦織地域振興会の猪股会長ら11人が登米市役所において熊谷市長と会見し、米谷病院の利用者の不安の解消に向けて「米谷病院の安定した病院運営と整形外科医師の確保について」と題した連名の要望書を提出して来ました。

要望の内容については次の3点となっています。

- ①米谷病院の持つ重要性を再認識して、これまでの運営状況を維持しつつ分院や診療所への移行を絶対避けること。
 - ②米谷病院長並びに副院長、整形外科医の確保を速やかに行うこと。
 - ③特に確保の目処が立っていないとされる整形外科医の確保は最重点的に行うこと。
- 市長や病院の担当者からは、①に対しては現時点では分院や診療所化の計画はないということでした。②③に対しては現在確保に向けてしっかりと対応しており、整形外科医についても精力的に当たっていきたいとのことでした。

2月開催の公民館事業ピックアップ

長生大学第3回学習会並びに閉講式を開催

2月20日に開催した第3回学習会は83人が参加し、ウクレレ弾き語りmiwa（美和）さんを講師に、ウクレレを奏でながら歌う懐かしのメロディーを聞いたり、一緒に歌ったりして楽しい時間を過ごしました。

また、美和さんは石巻で震災の津波で自宅を流された経験もあり、語り部としてのお話も交えての講演となりました。

引続き行われた閉講式では、5年、10年、20年の寿証書（寿証書は長生大学に3回出席した人等に授与）を受ける特別受賞者が紹介され、寿証20年となる鱒淵竹峯会の工藤佐恵子さんが寿証書を代表受領しました。

来年度も運営委員さんと楽しく質の高い講座を企画しますので多くの皆さんの参加をお願いします。



【寿証書特別受賞者の紹介】

- 20年 工藤佐恵子様（鱒淵竹峯会）
- 10年 亀井たみ子様（上沢交友会）
- 5年 千葉みえ子様（米川若草会）
- 佐藤幸子様（上沢交友会）
- 熊谷ゆき子様（上沢交友会）
- 佐藤裕孝様（綱木綱社会）

つまみ細工教室

5月からスタートした全8回の人気教室が2月14日で終了。全部で5つの作品を仕上げました。



【完成した水かぶり人形】



第6回ポッチャ大会 優勝は5区Cチーム

2月8日（日）に米川地区インドアスポーツ「第6回ポッチャ大会」を開催しました。出場チームは5つの自治会からの11チームに米川地域振興会チームを加えた12チームとなり、小学生チームも含めた老若男女が集い楽しく賑やかにゲームが進められました。

ゲームは12チームを3チームずつの4ブロックに分けて予選リーグを行い、各ブロックの上位2チームが決勝トーナメントに進出し、8チームで優勝を争いました。

決勝トーナメントには5区からエントリーした3チームすべてが進出し、準々決勝では5区同士の戦いも組み込まれました。

決勝戦は5区C対10区うまっこで行われ、平均年齢で大きく上回る5区Cが老練で安定した投球で見事に優勝を果たしました。5区は12月のユニカール大会に続いて、米川地域振興会主催のインドアスポーツ大会で2連勝を達成しました。

ポッチャは誰にでもできる簡単で楽しいスポーツです。次回はさらに多くの自治会の皆様の参加をお願いいたします。



【優勝した5区C（中央）の皆さんと5区選手団】



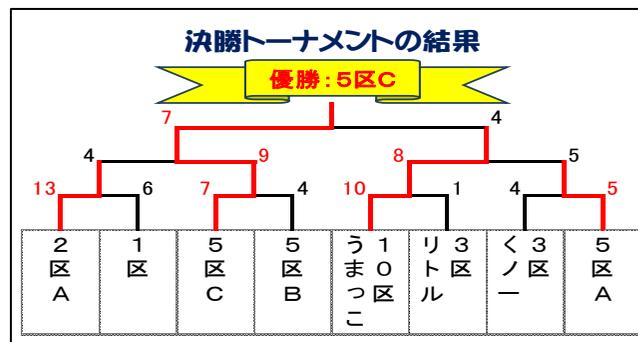
乗合タクシー 利用登録受付開始

令和8年度の乗合タクシーの登録申込書などを区長さんを通じて米川地区全戸に配付しました。

2月24日から米川診療所、米川薬局、米川公民館において受付を開始しております。

4月1日から利用できるよう、早めの申込をお願いいたします。

小・中・高校生の皆さんも賢く利用しましょう。



登米市主催の空き家セミナーから

2月7日（土）に開催された市主催の空き家セミナーに参加しました。セミナーの内容として次の3つが印象的だったので紹介します。

- ①後継ぎがいなければ、早いか遅いかだけで誰もが「わが家を空き家にする」可能性があり、決して他人事ではないということ。
 - ②空き家が放置された場合、所有者に不利益が発生するばかりでなく、近隣住民に被害が発生したり、空き家の増加により地域の魅力が低下する等、みんなが困る状況になっていくということ。
 - ③空き家を発生させないためには「住まいの終活」が必要であり、将来家を貸すのか、売するのか、解体するのか、住み続けるのかなど、親が話を切り出して、様々なことを家族で話し合っておくことが必要であるということ。
- 全国的に空き家が増加する傾向にあります。この山紫水明の里を未来に引き継いでいくためには、自分の家の将来の姿を思い描き、できることを実践していくことが大切だと感じました。（公民館長）